

宮口氏(足寄)が出馬を決意

明春の道議選

明年四月の道議選にたいしては、足寄町から地元の候補を立てようとの動きは、小林町長や大滝町議会議長は、口頭で承認した。

問題は地元の結束に

管内の顔ぶれは確定

○十勝管内道議選の定数は五名にたいして立候補予定者はすでに確定して、自民党からは朝日昇氏(浦幌町)、堀田毅氏(広尾町)、石川久成氏(新得町)、社会党からは渡部勇雄氏(池田町)、新村源雄氏(上士幌町)、共産党からは飛岡久氏の六名が名乗りをあげてい

町外の八千票を有効に

○宮口氏は小林町長とは入信して、いまは東十勝小学校からの同窓で四十二才、管内の予定候補者のなかでは最年少で、町議選は三期目で総務委員長のポストにあつて若さにはあきかず、温厚なまじめで、小林町長がもつとも頼りにしているブレインのひとり。

無所属立起で話し合い

現役一名を倒さねば

○ひつかかる公明党の党籍問題について、このほど同党本部委員長長の宮崎正義参議院の一行が来町して地元支持層と話し合いをしましたが、昨年の衆議院選で、

が事実上の立起表明におよんだもので、大滝議長としては『同僚議員のことなので、公明党だけの力では当選に及ばないので、地元のひろい層の支持を得るためには、宮口氏の無所属での立起は、もちろん、当選後の党籍についても本人の自由意志にまかせることにしました。』

○無所属立起であれば町内体制は好都合であり、無所属といつても公明党十勝支部長であり創価学会ブロックの責任者でもあるので、町外から八千票近くの得票が見込まれる宮口氏を地元の超党派の支持でなんとか有効に活用したいというのがねらい。

○それぞれ所属政党にしがらみがあるので、無所属の候補者といえどもおおよかの席上では態度を明らかにできないとしても、町政に参画している人々ともなれば、内心ではいずれも地元道議をもちたいのは共通しており、時期がくれば基礎票が固まり自民党や社人等としても地元候補に無関心ではおれなくなるものと観測。

○そういう意味ではむしろ無所属という便宜主義的

○七月末の臨時町議選閉会後に、大滝議長からの発案で議員懇談会としてこの宮口道議の問題で話し合いましたが、社会党や共産党などの議員はソツけない態度で、それぞれ町外の党公明党と創価学会との政教分離をすすめているときに、分断をすすめているときに、得票活動にとりくんでく

元足寄町長川上貞通殿 病氣療養中のところ 八月十八日午前七時四十分永眠いたしましたここに生前の御厚情を深謝し謹しんでご通知申しあげます
おつて葬儀は 足寄町葬をもつて次により執り行います
一、日時 八月二十五日午前十時
一、場所 足寄町公民館大ホール
昭和四十五年八月二十三日
足寄郡足寄町長 小林弘道

家具と建材

信用は最大のサービス

技術と納期を誇る
家具 建具 製造販売
住宅内装に新建材を
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話二二二二番

カメラ
ハミリ
写真材料
上野カメラ堂
上野復興 足寄駅前
T二五二二



技術に生きる
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
有限会社
ミネ・デンキ
足寄劇場前 電話2642番

株式会社
前田呉服店
足寄駅前商店街 電話二〇二二番

御得意各位様
毎回好評の京具服展示会を京都庫開き品の新柄を豊富に買いつけまして九月初旬階上京具服売場において初秋第一回の内見会を催しますのでご期待の上賑々しく来会下さいませよう
お願い申しあげます